

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第271号
(9月)
2024

あきらめず「やり抜く力」

学校法人内丸学園 盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

スポーツアスリートの祭典・パリ五輪、そして続くパリ・パラリンピックが多くのご感動と話題を提供して、次回ロサンゼルス大会に引き継がれ終演しました。

各競技を通し最後まで諦めずやり抜く姿が、共通話題でした。報道はアスリートが競い合う中でメダル獲得情報に多くの関心を寄せ、その多くは各選手達のそれまでの努力する姿や過程が、「やり抜く力」「あきらめず粘る力」「くじけず立ち向かう闘志」として紹介されておりました。

おりしも夏休み明けの第二学期の始まりは、当幼稚園年中行事の一つですが、運動会の取り組みです。パリ五輪の影響もあり色々と盛り上がりがありますが、培う活動モットー主題の一つが、最後まであきらめ

ずやり抜く力です。粘り強くやり抜く力の養成は、幼児期における教育・保育活動の中でも重要な指導目標です。

さて幼稚園での活動の中でどのように「やり抜く力」を育んでいるか。やり抜く力とはどんな要素から成り立っているか。

その一つにペンシルバニア大学の心理学者、アンジェラ・ダックワース教授のグリット(GRIT)「やり抜く力」理論、「才能やIQ(知能指数)や学歴ではなく、個人のやり抜く力こそ、社会の成功を収める最も重要な要素」と提唱する内容です。最近の教育界やビジネス業界で注目の理論で私どもも重要な参考情報として取り入れております。

グリット・GRITは造語で、Guts(ガッツ)・・・困難なことにも立ち向

かう闘志。Resilience(レジリエンス)・・・失敗しても粘り強くやり続ける回復力。Initiative(イニシアチブ)・・・自らが目標を見据えて行動を起こす自発性。Tenacity(テナシティ)・・・強い意志をもって最後までやり遂げる執念。の4つの頭文字が、グリット(GRIT)「やり抜く力」と定義されております。

やり抜く力は、先ず各人の闘志を基本にして、失敗してもやり続ける回復力、そして自らやろうとする自発性や強い意志を持つ執念が育成され、備わっていないければならないという分析理論です。

私どもは、近代の幼児教育の充実推進の中で、資質や知能指数という数値化される認知能力の養成も大事であるが、数値化されにくい非認知能力として、諦めずやり抜く力や対人関係コミュニケーション力等々の育ちが、幼児期における最重要の課題として取り上げておりますが、グリットはまさにその中心です。

闘志、回復力、自発性そして最後までやり遂げる執念、どれもこれからの社会で生き抜くために必要な資質や能力です。

前回の園報で紹介した令和時代を生きる子ども達に、現代の親が望む育って欲しいことアンケート上位、「失敗しても立ち直れて成長できる力」や「自分の力で道を切り開く能力」は、グリット力の向上・育ちそのものだと思います。

運動会行事を通じたグリット力の育ちですが、当日を迎えるまでの練習過程で存分に体験する環境を設定しますし、終わった後も運動会遊びが続きますので、「諦めずやり抜く力」の主體的な活動の育ちは継続しております。

保護者の皆様におかれましては子どもの言動に注目し、ご支援ご協力をお願いします。



運動会『幼稚園伝統 年長児のマット取り』

4歳児Bクラス

運動会中、Aクラスのパルーンやリレーを真剣に見ながら密かに憧れていた子どもたち。今年の経験が来年のAクラスへとつながることを願っています☆

当日。かけっこでは、元気に返事をしながらスタート！ゴールテープまで一生懸命走りきり、親子競技では、一緒に野菜を収穫！ダンスでは、獅子舞になりきって、力強い振り袖と揃った掛け声で堂々と踊ることができました。やりきった子どもたちの表情からはまた一つ成長を感じました。全員で参加することができ、お家の方に近くで応援してもらい、子どもたちも緊張しながらも笑顔が見られ、練習以上に力を発揮していました。

みんながんばったね！
Bクラス担任 新沼弥英

「あと〇回寝たら、運動会だよ！」とカウントダウンカレンダーを作ったり、「晴れますように…」とてるてる坊主を作ったり、運動会当日を楽しみにしていた子どもたち。練習にも日に日に力が入り、暑い中、毎日頑張りました。



保護者の方から
競技を一生懸命頑張っていて、昨年よりも頼もしく堂々とした姿に、成長を感じました。

外ではかけっこ競走、家で曲を流すとダンス…と、運動会の余韻も楽しんでいます！

2024 MKG 運動会

特集!!



保護者の方から
初めての運動会で、最初は緊張していましたが、最初は先生に声を掛けてもらい楽しそうに参加して安心しました。去年までハイハイをしていた息子が一人で走っている姿に感動しました。

あいにくの雨でしたが、かけっこにダンスと、一生懸命楽しんでいました。

笑顔いっぱい運動会
いちこクラス担任 齊藤綾

「初めて」の運動会を経験する子ども多かった保育部の子どもたち。お部屋に万国旗を飾ってみると、「先生何するの？」とこれから始まる運動会に期待いっぱいでした。保育部全体が集まり、今年の親子ダンスをお披露目した後は、子どもたちから「音楽かけて！」のリクエスト！朝や夕方の合同保育の時間にもみんなでダンスを楽しみながら過ごしました。また、お外に出掛けると「よいいどんしよう！」の一言でかけっこを繰り返して楽しむ姿があり、体をおもいきり動かす気持ちよさを感じているようでした。お友だちがかけっこをする姿を「がんばれー！」と応援する子どももいました。温かな雰囲気嬉しさを感じることがありました。



当日は、いつもと違う雰囲気の中ではありましたが、大好きなお家の方と一緒にかけっこやダンスを楽しむことができました。これからの子どもたちの成長が楽しみになる運動会となりました。

未満児クラス

5歳児Aクラス

ピカピカの金メダル
Aクラス担任 竹岡真美

幼稚園最後の運動会。一人一役の係も、パルーンもリレーもマット取りも『Aクラスだからできること』として張り切って当日まで取り組みました。勝ち負けがつくマット取りとリレーは、練習で負けて泣いてしまったり、「もうやりたくない」と泣く子もいました。それでも、チームの仲間と作戦を考えたりしながら「次頑張ろう！」と気持ちを切り替え、諦めずに練習に臨んでいました。

当日、両チームが陣地近くまでマットを取り合う熱戦となったマット取り。皆の力と心を合わせて楽しく演技できたパルーン。練習より長い距離を3チームともバトンを繋ぎ、走りきったリレー。一生懸命な姿に応援にも力が入り、『最後まで諦めないこと』『友達と力を合わせて頑張ること』の大切さを実感しました。最後には、胸に光る大きな金メダルと皆のやりきった笑顔が眩しく、運動会は大成功！お家の方々にも成長を感じていただけたと思います。温かい応援、ありがとうございました。



保護者の方から
全ての競技において一致団結した姿・一人一役を立派にこなす姿に感動しました！

「最後の運動会」「お友達と過ごすのも、あと少し」と思うと涙が止まりませんでした。

練習からとても張り切っていて家でも作戦会議をしたり、走る特訓をしたりしていました。

保護者の方から

大勢の前で競技ができるか心配していましたが、頑張る姿を見ることができて嬉しかったです。運動会後も、動画を見て誇らしげにしていました！

子ども達の元気に頑張っている姿を見ることができて、とても良かったです。

みんなが一等賞!
C1クラス担任 村松千尋

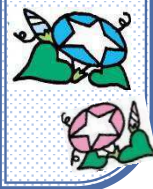
「運動会ってどんなことをするのか？」と、ドキドキワクワク練習してきた子どもたち。練習したことはすぐに遊びへつながり「位置について、よいいどん」の合図で何度もかけっこをしたり、音楽に合わせてダンスをしたり、応援団の真似っこをしたり…友達や先生と一緒に楽しみながら、少しずつイメージを持って当日を迎えました。

運動会本番は、幼稚園と違う環境に緊張する子や、お家の人と離れることにちよっぴり寂しくなる子もいましたが、競技が始まると、かけっこ・ダンス・親子競技と、自分の力を発揮して頑張る瞬間が一人一人にあり、何より、ピカピカの笑顔を見られたことがとても嬉しかったです。特に、練習を重ねてきたダンス『いろ・いろ・たんけんたい!』は、みんなでお家の人の前に立つことができました！その中で、友達と元気に踊る姿も見ることができ、子どもたちの成長や力を感じました。初めてのことがいっぱい運動会…頑張ったみんな、一等賞です！



3歳児Cクラス

夏の遊び・生活から



観察園について

Bクラス担任 石田雪乃

野菜の生長を間近で見て、収穫や食す喜びを感じたこの夏。「ナスにはトゲがあるよ」と、見て触れたからこそ「気づきを早速友達に伝える子。苦手だけど一口食べてみた子。収穫した分だけ貼っていたシールを指差して懸命に数える子。畑から得た多くの学びと経験が豊かな心の成長に繋がっていくよう、今後も見守っていきます。

水遊びだいすき！

つぼみクラス担任 林崎裕子

今年も裏庭にタライやプールを出して夏ならではの水遊びを楽しみました。初めてプールに入る子が多く、恐る恐る入っていました。慣れてくると「つめたいね!」と話して楽しむ子が増え、水のシャワーを「あめ!」と見立てて浴びたり、「もつと!」と喜ぶ姿がありました。それぞれなりに、水と仲良くなれた夏になったと思います。

お楽しみ会について

Aクラス担任 中村真子

早いもので、暑かったお楽しみ会から2か月が過ぎました。思い返すと、キラキラした笑顔ばかり浮かんでいきます。グループ名決めから始まり、看板作りなどの活動を通し、友達と協力して頑張る姿が印象的でした。特に、ホールでアイスを食べられると聞いた瞬間の歓声は忘れられません(笑) 良き夏の思い出になっていますように…。



Aクラスお楽しみ会『おいしいね☆』

園内研修について

研修担当 田口千聖

今年度は「遊びの環境構成と育ちの連続性」というテーマで園内研修をしています。0歳〜5歳までの6年間、子ども達は様々な経験を重ね、心も体も育っていきます。そして、その先の小学校に向け、育ちや学びがつながっていくことが近々の課題です。当園でも、仁王小学校の先生方に来園していただき、乳幼児の生活や保育の様子を参観していただきました。今後も小学校との交流を深め、子ども達の育ちの連続性を大切にしていきたいと思えます。



『小学校の先生が年長児の活動を参観』

編集後記

年々暑さが増す中での運動会練習でしたが、気が付くと朝晩の涼しさに秋の訪れを感じます。

先日の運動会ではあいにくの雨となりましたが、子ども達が自信を持って動きだす姿、キラキラとした目に、これまでの頑張りが見られた運動会になりました。いろいろな行事を経験することで、時としてこちら側の思い以上に大きな成長が見られ今回も感動がありました。初めて運動会に参加したお子さんは圧倒され動き出せずにいたかもしれませんが「練習時の「お友だち、先生と一緒に楽しい」という思いは伝わり、この体験こそが次へのステップになっていくと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

学校法人 内丸学園

幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

〒020-0002

盛岡市中央通一六―四七

TEL 六二二―二三〇一

理事長 坂本 洋